（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・保育所等訪問　『COCOroom』			
○保護者評価実施期間	令和７年　４月　１日	～	令和８年　３月　３１日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32名	（回答者数）	２０名
○従業者評価実施期間	令和７年　４月　１日	～	令和８年　３月　３１日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	８名
○事業者向け自己評価表作成日	令和８年　３月　３１日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・認定こども園内に併設された事業所で、乳児部・幼児部・あずかり保育部の各機関と連携を密に取りながら、子どもたち個々の成長を身守り、支援の方法を統一していくことが出来ます。	・各機関と連携を密に行い、子どもたちへの支援の方法を一緒に考えていきます。 ・子どもたちが楽しく療育に参加できるよう、教材や活動等、日々新しいものを取り入れております。	・重ねて訪問支援を行うことにより、個別レッスンで出来るようになったことを、集団の中でも反映していけるよう、COCOroomスタッフが側にそり沿い支援を行っていきます。
2	・完全個別療育1時間、小集団25分の活動を組み合わせることにより、一人一人に合わせた療育をじっくりと丁寧に行うことができます。	・保護者さまには積極的に見学に来ていただき、子どもたちの療育の様子を別室からmeetで見ていただいております。保護者さまがいない時間をどのように過ごしているのか、ゆっくりと見ていただくことができます。	・保護者さまへの研修や懇親会の企画を行います。 ・常に新しい教材や運動を取り入れ、子どもたちがより楽しくCOCOroomで成長していけるように取り組みます。
3	・避難訓練・集団での小学校への避難など、幼児部・乳児部と合同で行っております。また、感染対策研修は幼児部の看護師から指導を受けるなど、こども園ならではの特色を生かしております。	・インカムを通じて幼児部・乳児部と連携を取りあったり、共同の連絡ツールでの情報共有、幼児部の終礼への出席や訪問支援後のFB、先生との定期的な面談等を行い、より子どもたちの様子を把握できるようにしております。	・災害時の対応や避難訓練の実施、支援プログラムの公開など、保護者さまにハグやSNS等を通して周知を行っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長時間の利用や外出イベントを目的としたサービスを行うことが難しい。	・より専門的で丁寧な支援を行うため、子どもたちが集中できる時間、環境を考慮してプログラム設定、スケジュール設定を行っているため。	・土曜日や幼稚園の長期休みを利用して、研修や外出イベントの企画を行っていく。